

令和6年度以降 学科到達目標(評価指標) 汎用的能力【学科共通】

※レベルを飛び越えて評価できません。「Level 1」に達していない場合は、「Level 1未満」とします。

※レベル評価では、該当する全ての内容を達成していなければなりません。

コンピテンシ	到達目標	ベンチマーク Level1	マイルストーン Level2	マイルストーン Level3	キャップストーン Level4 以上
I (態度・志向性)	【主体的・自立的に行動できる確かな人間力】 1) 自己意識を持って意見や立場を理解し、自立的意識をもって協調する態度を身につけることができる。 ① 自分の意見を自立的に分かりやすく人に伝えることができる。 ② 相手の意見を丁寧に聴き、意見の違いや立場の違いを理解して協調した対応ができる。 2) 社会規範に沿った倫理観をもち、社会の一員としての責任をもつことができる。 ① 自己の良心と社会規範に沿った倫理観の下での対応ができる。 ② 社会のルールや人との約束を守って社会の一員として責任を持って立ち居振る舞い対応ができる。 3) 将来目標に向けた自立的志向、ライフスタイルに応じた生涯学習志向を持つことができる。 ① 社会規範に沿った基本的な生活習慣や、自己の健康・体力を管理することができる。 ② ストレスの発生源に対して自律的かつ柔軟に対応し、危機管理を行うことができる。 ③ 自主的に将来の目標に向かって自立学習をすることができる。	□ 小グループの活動のなかで、十分ではないが自分の思いや考えを伝えようと努めている。 □ 相手の背景や立場にたった理解や、話すときの表現を工夫するまで至らないが、意見をきちんと傾聴することはできる □ 関連法令を理解し遵守している。人との約束などについてある程度は守れている。 □ 自らの取組みや活動について、他者・社会・自然に対して責任や責務を負っていることを認識しはじめたところである。	□ 小グループの活動のなかで、自分の考えを伝え、また相手との違いを理解することができる。 □ 自らの発言の責任と、相手に配慮して協調した対応を少しはできる。 □ 主体的に自分の思いや考えを、表現方法を工夫し、効果的に相手に伝えよう努めている。	□ 集团的活動のなかで、立場の違いや状況を適切に判断して相手の思いや考えを傾聴、理解し、共感することができる。 □ 必要に応じて配慮する態度がとれ、自分の発言や行動に責任を伴うことについて十分でないが理解できている。 □ 主体的に自分の思いや考えを、表現方法を工夫し、効果的に相手に伝えることができる。	□ 授業内外の組織・集团的活動のなかで、立場の違いや状況を適切に判断して相手の思いや考えを傾聴、理解し、共感することができる。 □ 必要に応じて配慮する行動がとれ、また自分の発言や行動に責任を伴うことを理解したうえで、主体的に自分の思いや考えを、表現方法を工夫し、効果的に相手に伝えることができる。 □ 関連法令を理解し遵守している。交わした約束などについて十分なコミュニケーションを図ったうえで、きちんと守っている。 □ 自らの取組みや活動について、他者・社会・自然に対して責任や責務を負っていることを認識、理解でき、実際に責任を持った行動がとれる。 □ 変化する社会環境に対して世界的視点を備え、自己の良心に基づいて社会規範に沿った責任行動がとれる。
II (知識・理解)	【社会人としての汎用的能力】 1) 人文科学、他文化や異文化に関する知識を身につけ、人間性への理解認識を深めることができる。 ① 人文科学に関する知識を基に物事を理解し、処理することができる。 ② 多文化や異文化に対する認識と理解を持って知識を身につけることができる。 2) 社会科学・自然科学に関する知識を身につけ、物事への理解認識を深めることができる。 ① 社会科学に関する知識を基に物事を理解し、処理することができる。 ② 自然科学に関する知識を基に物事を理解し、処理することができる。 3) 将来社会生活・職業生活に向けた基礎知識を身につけ、生活での多様な役割や意義関連への理解を深めることができる。 ① 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていくことができる。 ② 職業生活・社会生活に必要な基本的な常識を身につけることができる。	□ 修了した学期において、汎用的能力要素【知識・理解】の学修到達度が、概ね60%以上ある。 □ 1科目以上の共通科目を履修し、人文科学や多様な文化に関する内容を学修した。その学修のなかで、与えられた課題はきちんとこなすことができる。 □ まだ専門分野や社会と関係付けた考えができていないが、知識として内容はきちんと身に付けた。 □ 実際の認識は浅いと思うが、物事に多面的な関係性があることは分かる。 □ 他者の文化的背景を踏まえた言動はほとんどできていないと感じる。 ※学生ポータルサイトに記される学修到達度を参照。	□ 修了した学期において、汎用的能力要素【知識・理解】の学修到達度が、概ね70%以上ある。 □ 複数の共通科目を履修し、人文科学や多様な文化に関する内容を学修した。その学修のなかで、与えられた課題はきちんとこなすことができる。 □ 身に付けた学修内容は、専門分野や社会との関係性がある程度は分かるので、授業以外で学修内容を日常で少しは使用することができる。 □ 物事の多面性と多様な関係性、また学んでいない他の分野や事柄との結びつきに少しは気付くことができるので、少しは考えて他者への言動の配慮ができる	□ 修了した学期において、汎用的能力要素【知識・理解】の学修到達度が、概ね80%以上ある。 □ 複数の共通科目を履修し、人文科学や多様な文化に関する内容を学修した。その学修のなかで、履修科目の授業や与えられた課題をきちんとこなすことができる。 □ 身に付けた学修内容は、その授業以外に、専門とする分野や社会生活との関連性を把握できている。 □ 関連する事柄に対する言動は、場面に応じて学修した内容を使用することができる。 □ 物事の多面的な関係性があること、また学んでいない他の分野や事柄との結びつきが理解できるので、他者への言動の配慮ができる。	□ 修了した学期において、汎用的能力要素【知識・理解】の学修到達度が、概ね90%以上ある。 □ 複数の共通科目を履修し、人文科学や多様な文化に関する内容を学修した。その学修のなかで、履修科目の授業や与えられた課題をきちんとこなすことができる。 □ 身に付けた学修内容は、その授業以外に、専門とする分野や社会生活との関連性を理解している。 □ 関連する事柄に対する発言や行動は、場面に応じて学修した内容を使用することができる。 □ 物事の多面的な関係性があること、また学んでいない他の分野や事柄との結びつきが理解できるので、他者への言動の配慮や働き掛けができる。 □ 人間性の更なる理解を深めるために自ら学びを深めており、日常に活かしている。
III (Skills and expression)	【Generic skills as a member of society】 1) 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。	□ 修了した学期において、汎用的能力要素【技能・表現】の学修到達度が、概ね60%以上で獲得している。 □ 授業の課題をこなすことができる。 □ 語学力の4要素(読み・書き・聞き・話す)のうち少なくとも1つは	□ 修了した学期において、汎用的能力要素【技能・表現】の学修到達度が、概ね70%以上で獲得している。 □ 授業の課題をこなすことができる。 □ 語学力の4要素(読み・書き・聞き・話す)のうち2つは日常活用におい	□ 修了した学期において、汎用的能力要素【技能・表現】の学修到達度を概ね80%以上で獲得している。 □ 授業の課題をこなすことができる。 □ 語学力の4要素(読み・書き・聞き・話す)のうち3つは日常活用において不	□ 修了した学期において、汎用的能力要素【技能・表現】の学修到達度を概ね90%以上で獲得している。 □ 授業の課題をこなすことができ、また自らの学びを示すことができる。 □ 語学力の4つの能力要素(読み・書き・聞き・

		<p>日常生活において不自由ないレベルにある。学修は授業のなかで完結している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 日常に活用するまででないが、授業外の活動で部分的に活用している。 <input type="checkbox"/> テキストの情報を適切に捉え、言い換えや要約することができる。 <input type="checkbox"/> 文章作成の課題に対し、最低限の注意は払うことができる。 <input type="checkbox"/> 用語法を誤ったりするが、基本的構成や提示において一貫した体系を使うように気をつけている。 <input type="checkbox"/> 話において、中心的なメッセージは推測してもらえる。 <input type="checkbox"/> プレゼンテーションは構造的なパターンを部分的にはつくれる。 <input type="checkbox"/> 自分の話し方は、まだ相手の理解の妨げとなっていると考えられる。 <p>※学生ポータルサイトに記される学修到達度を参照。</p>	<p>て不自由ないレベルにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学修は授業のなかで完結しているが、授業外の活動である程度活用できている。 <input type="checkbox"/> 日常で活用することについては意識している。 <input type="checkbox"/> テキストの情報を評価し、その背景や目的について、基礎的な推論ができる。 <input type="checkbox"/> 与えられた課題を理解して、特定の学問や文章作成課題に求められるルールに従って作成することができるが、文章には数か所誤りがある。 <input type="checkbox"/> 話において、中心的なメッセージは基本的に伝えることができ、プレゼンテーションは構造的なパターンを時々つくれることができる。 <input type="checkbox"/> 自分の話し方には自信がもてないている。 	<p>自由ないレベルにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 継続的ではないが、学修は授業内だけでなく、関心をもって学修・活用に努めている。 <input type="checkbox"/> テキストの情報に対して、より複雑な推論を行うために、一般的及び特定の知識を使用している。 <input type="checkbox"/> 与えられた課題に明確に焦点をあてており、特定の学問や文章作成課題に求められる重要なルールを、一貫性をもって使用できる。 <input type="checkbox"/> 文章の誤りは減多にない。 <input type="checkbox"/> 話において中心的メッセージを明確に伝えることができ、プレゼンテーションは一貫した構造的なパターンでつくることができる。 <input type="checkbox"/> 自分の話し方によって、相手に興味深さを与えることができる。 	<p>話す)が全て日常生活において十分なレベルにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学修は、日常においても自ら学修をすすめており、学修内容は授業外においても十分活用できている。 <input type="checkbox"/> テキストの情報を超える問題に対して、テキストが含意するものを認識している。 <input type="checkbox"/> 与えられた課題に対応し、あらゆる要素に焦点をあてており、特定の学問や文章作成課題に求められる広範なルールに細かな注意を向け遂行できる。 <input type="checkbox"/> 文章の誤りは殆どない。 <input type="checkbox"/> 話において説得力をもって中心的メッセージを伝えることができる。 <input type="checkbox"/> 話し方は、プレゼンテーションを説得的に使用することができ、洗練されており、自信をもって伝えることができる。 	
	2) 自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析、理解し、表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 修了した学期において、汎用的能力要素【技能・表現】の学修到達度※を概ね 60%以上で獲得している。 <input type="checkbox"/> 計算などの分析を試みている。 <input type="checkbox"/> 論拠を並べることができるが、整理し、問題の焦点と関連付けはしていない。結論はあいまいで、筋が通らないことがある。 <input type="checkbox"/> 単純に情報の変換は完遂できる。 <p>※学生ポータルサイトに記される学修到達度を参照。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 修了した学期において、汎用的能力要素【技能・表現】の学修到達度を概ね 70%以上で獲得している。 <input type="checkbox"/> 行った分析から、問題の完全な解決をするために要求された分析の一部分は示すことができる。 <input type="checkbox"/> 論拠は整理することができるが、その整理は、重要なパターン、違い、類似性を明らかにするには十分とは言えない。 <input type="checkbox"/> 課題の事象に対し、一般的結論は導ける。 <input type="checkbox"/> 情報の変換は完遂できる。 <input type="checkbox"/> 結果である科学・数学的表現(式、グラフ、図、表、言葉)は部分的には適切あるいは正確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 修了した学期において、汎用的能力要素【技能・表現】の学修到達度を概ね 80%以上で獲得している。 <input type="checkbox"/> 行われた分析は基本的には全て成功しており、十分に問題解決できる。 <input type="checkbox"/> 論拠を整理して、問題の焦点と関連する重要なパターン、違い、類似性を明らかにすることができる。 <input type="checkbox"/> 結論は、単に得られた結果から上がってきたものであり、結果に明確に対応させることができる。 <input type="checkbox"/> 適切な情報を、適切での望ましい科学・数学的表現に完全に変換できる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 修了した学期において、汎用的能力要素【技能・表現】の学修到達度を概ね 90%以上で獲得している。 <input type="checkbox"/> 行われた分析は基本的には全て成功しており、十分に問題解決できる。また、分析プロセスは明快である。 <input type="checkbox"/> 論拠を整理して総合的に扱い、問題の焦点に関連する洞察に富んだパターン、違い、類似性を明らかにすることができる。 <input type="checkbox"/> 結論は、得られた結果から、論理的に既知の事柄のことから推定することができる。 <input type="checkbox"/> 適切な情報を、さらに進んだ、あるいはさらに深い理解に寄与するような方法で、洞察に富んだ科学・数学的表現に巧みに変換できる。 	
	3) 将来社会生活・職業生活に必要な基礎的技術を身につけ、問題を発見し解決することができる。 ① 情報通信技術(ICT)を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。 ② 情報や知識を複眼的、論理的に分析して物事を考え、その結果を文書や発言として表現できる。 ③ 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。 ④ 職業生活・社会生活に必要な基本的な所作やマナー、文章作成、必要に応じた技能検定資格等を身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報の取扱いの法令を遵守し、与えられた課題の解決ができる。 <input type="checkbox"/> ICT(情報通信技術)の基本的ツールを、十分ではないが活用することができる。 <input type="checkbox"/> 情報は、自分の偏った見方から収集しており、また系統立ててまとめるまでには至らないと言える。あるいは、課題の意図に沿わない情報を含めている。 <input type="checkbox"/> 課題に対する結果の内容は、論理性がなく、あいまいである。 <input type="checkbox"/> 授業のなかで生活に必要な基本的な所作・マナー、文章作成を身に付けたが、授業外でわずかに転用・応用できている。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報の取扱いの法令を遵守し、与えられた課題の解決ができる。 <input type="checkbox"/> ICTの基本的ツールを十分に利用することができるが、効果的に活用できているとは言えない。 <input type="checkbox"/> 収集された情報は、ある一定の範囲から収集されており、系統立てられるものである。 <input type="checkbox"/> 結果の内容は、課題の意図に沿ってある程度深さをもって整理できている。 <input type="checkbox"/> 文章には部分的に論理性を欠く内容が含まれる。 <input type="checkbox"/> 行動にまで至らないが、課題解決のなかから、自己の興味の範囲で問題を見出すことができる。 <input type="checkbox"/> 授業のなかで生活に必要な基本的な所作・マナー、文章作成を身に付け、部分的だが授業外で転用・応用できている。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報の取扱いの法令を遵守し、与えられた課題の解決ができる。 <input type="checkbox"/> ICTの基本的ツールを十分に活用でき、効果的に活用できる。 <input type="checkbox"/> 収集された情報は、文脈に関連する範囲のある一定の深さで収集し、系統立てることができる。 <input type="checkbox"/> 結果の内容は、課題の意図に沿ってある程度の深さをもって論じることができる。文章は論理性があり、明確にできる。 <input type="checkbox"/> 課題解決のなかから、関連する情報との関係性から問題を発見し、解決を試みることができる。 <input type="checkbox"/> 授業のなかで生活に必要な基本的な所作・マナー、文章作成を身に付け、授業外でも応用できている。 <input type="checkbox"/> 授業外に諸々の技能検定資格等について、今後の必要性を感じており、諸々の資格取得を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報の取扱いの法令を遵守し、与えられた課題の解決ができる。 <input type="checkbox"/> ICTの基本的ツールを十分に活用でき、効果的かつ発展的に活用できる。 <input type="checkbox"/> 収集された情報は、文脈に関連する範囲を十分な深さで収集し、系統立てることができる。 <input type="checkbox"/> 結果の内容は、課題の意図に沿って十分な深さをもって論じており、文章は論理性があり、明確にできる。 <input type="checkbox"/> 課題解決のなかから、関連する情報との関係性から諸問題を発見し、解決策を見出すことができる。 <input type="checkbox"/> 授業のなかで生活に必要な基本的な所作・マナー、文章作成を身に付け、授業外にも応用するほか、発展的に学んでいる。 <input type="checkbox"/> 授業外の諸々の技能検定資格等において、今後の必要性を感じ、実際に資格取得に向けた学修を自ら行っているか、あるいは取得している。 	
IV (行動・経験・創造的的思考力)	【地域生活を支援し、創造する力】	<p>1) 物事に進んで取り組み、他人との協調のなかで行動することができる。</p> <p>1) 物事に進んで取り組み行動することができる。</p> <p>2) 他人に働きかけを行い、巻き込みながら行動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動に参加することができる。チームの考えや意見などを共有するが、受動的に受入れている。 <input type="checkbox"/> 他のメンバーから促されることで発言でき、意見を傾聴することでグループ活動に参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動に参加することができる。 <input type="checkbox"/> 自らのその成果は徹底し、包括的であり、プロジェクトを前進させるものである。 <input type="checkbox"/> 対立する考えや意見から離れ、共通する基盤や当座の課題に目を向け直すことができる。 <input type="checkbox"/> 他のメンバーの見方を言い直さずか、明確にする質問をすることなどで、話し合いを促進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動に参加することができる。 <input type="checkbox"/> 自らのその成果は徹底し、包括的であり、プロジェクトを前進させるものである。 <input type="checkbox"/> 対立する考えや意見を認識し、把握したうえで取り組みを続けることができる。 <input type="checkbox"/> 他のメンバーの貢献を建設的に積み重ね、統合するなどして、話し合いを促進することで、他のメンバーをチームの活動に参加させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動に参加することができる。 <input type="checkbox"/> 自らのその成果は徹底し、包括的であり、プロジェクトを前進させるものである。他のメンバーが与えられた課題を自分と同じレベルで完遂できるように率先して助けることができる。 <input type="checkbox"/> 破壊的な対立する考えや意見において、直接言及し、チーム全体の結束を効果的に高めるやり方で、対立に取組み解決することを建設的に助けることができる。 <input type="checkbox"/> 参加していないメンバーに気づき、参加を促すとともに、他のメンバーの貢献を建設的に積み重ね、統合するなどして、話し合いを促進することで、チームの活動に参加させることができる。
	2) 目的を設定し、将来設計に沿って確実に行動することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動に対して目的を理解し、取組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動に対して目的を理解し、取組むことができる。 <input type="checkbox"/> 明確な自らの目的はまだ見出せるまででないが、課題や活動のなかに自己の将来ビジョンとのつながりを少しは考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動に対して目的を理解し、取組むことができる。 <input type="checkbox"/> 行動の証を示せるまででないが、課題や活動のなかに自己の将来ビジョンとのつながりを見出し、明確な自らの目的を設定できている。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動の目的を理解し、取組むことができる。 <input type="checkbox"/> 課題や活動のなかに自己の将来設計とのつながりを見出し、明確な自らの目的を設定できており、それに対する行動の証を示すことができる。 	
	3) 獲得した知識、技術・技能、態度等を総合的に活用し、経験から新しい価値や課題を見出し解決することができる。 ① 経験を基にさらに新しい価値を生み出すことができる。 ② これまでに獲得した知識、技術・技能、態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動をその授業の学修内容だけで解決している。 <input type="checkbox"/> 経験や知識は、その授業以外のこととは連続しない個々のものとして捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動をその授業以外の経験を含めて適用し解決できる。 <input type="checkbox"/> その課題からは、自らの考えや価値、新たな課題を見出すことができる。 <input type="checkbox"/> 個々の経験や知識について、連続する総合的な見方をするまでには至らない。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動をその授業以外の経験を含めて適用し解決できる。 <input type="checkbox"/> その課題から自らの考えや価値、新たな課題を見出している。 <input type="checkbox"/> 個々の経験や知識について、連続する総合的な見方ができるが、自ら立てた課題を解決できるまでには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 与えられた課題や活動をその授業以外の経験を含めて適用し解決できる。 <input type="checkbox"/> その課題から自らの考えや価値、新たな課題を見出している。 <input type="checkbox"/> 個々の経験や知識が連続する総合的な見方ができている。 <input type="checkbox"/> 自ら立てた課題の解決がされており、新しい価値を見出している。 	